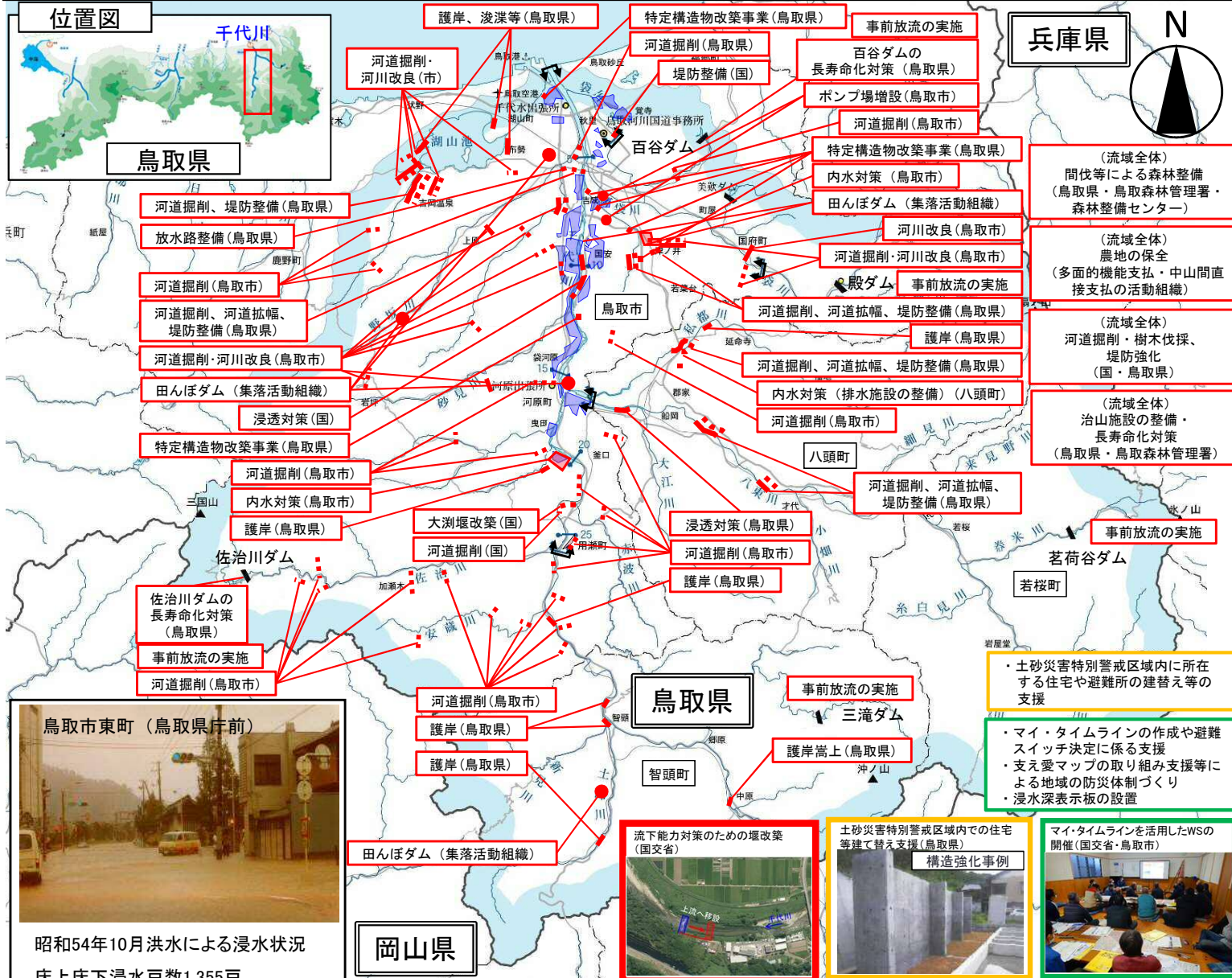


千代川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～流域の人々とともに因幡の治水対策を推進～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、千代川水系においても、事前防災対策を進める必要があります。
- 千代川は、三方を山に囲まれており、洪水時には下流部の低平地に三方向から一気に流出するため、浸水被害が広がりかつ長期化する特性を有しており、国管理区間においては戦後最大の昭和54年10月洪水においても広範囲に浸水被害が発生したことを踏まえ、洪水時の水位を下げる河道掘削や内水被害を軽減する排水機能増強などの事前防災対策を進めます。
- 以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和54年10月洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図ります。あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取り組みを実施し「逃げ遅れゼロ」を目指します。

位置図



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、河道拡幅、堤防整備、堰改築、放水路整備、護岸、浚渫、樹木伐採 等
- ・利水ダム等を含む5ダムにおいて事前放流等の実施（関係者：国、鳥取県、中国電力（株））
- ・ダムの適切な管理（長寿命化対策）
- ・ポンプ場増設、下水道等の排水施設の整備
- ・砂防関係施設の整備・長寿命化対策
- ・治山施設の整備・長寿命化対策
- ・間伐等による森林整備
- ・田んぼダムによる流出抑制対策

■被害対象を減少させるための対策

- ・土砂災害特別警戒区域内に所在する住宅や避難所の建替え等の支援

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水位計・監視カメラの設置
- ・マイ・タイムラインの作成や避難スイッチ決定に係る支援
- ・支え愛マップの取組支援等による地域の防災体制づくり
- ・防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発
- ・あんしんトリプーメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供
- ・要配慮者が確実に避難できる避難計画作成等の支援
- ・感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備
- ・内水ハザードマップやため池ハザードマップの作成 等
- ・浸水深表示板の設置
- ・土砂災害警戒区域等指定による土砂災害防止対策推進
- ・土砂災害警戒情報と危険度情報の提供

■グリーンインフラの取組 詳細次ページ

- 凡例
- 堤防整備
 - 堤防強化（浸透対策等）
 - 河道掘削、樹木伐採等
 - 大臣管理区間における浸水実績（戦後最大の昭和54年10月洪水）
 - 大臣管理区間
 - 千代川流域界

鳥取市東町（鳥取県庁前）

昭和54年10月洪水による浸水状況
床上床下浸水戸数1,355戸

岡山県

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

千代川水系流域治水プロジェクト【位置図】

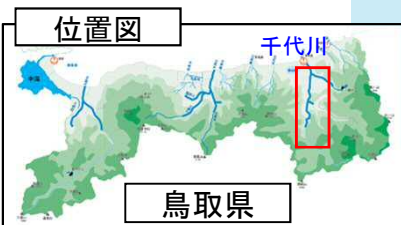
～流域の人々とともに因幡の治水対策を推進～

●グリーンインフラの取り組み 『多様な動植物の生息・生育環境の保全・再生と水質改善』

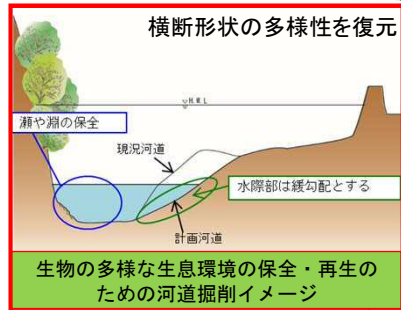
○千代川は、その源を沖ノ山に発し、上流部では中生代ジュラ紀の三郡変成岩（千枚岩）が形成され、下流部では縄文海進（じょうもんかいしん）により出現した古鳥取湾が千代川から運ばれる土砂により埋められ形成された鳥取平野が広がっており、河口部は渡り鳥の飛来地になっているほか、本川、支川においても豊かで多様な動植物が息づき良好な景観が形成されている等、次世代に引き継ぐべき豊かな自然環境が多く存在しています。

○千代川水系においては、河道掘削、堰改築等にあたり、動植物の生息・生育環境の保全・再生を目標として、今後概ね20年間で魚類等生物移動の縦断的連続性を確保、また清らかな水の流れを再生するための袋川の水質改善を検討するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進します。

位置図



横断形状の多様性を復元



- 凡例
- 堤防整備
 - 堤防強化（浸透対策等）
 - 河道掘削、樹木伐採等
 - 大臣管理区間
 - 千代川流域界

- 治水メニュー
- グリーンインフラ関連メニュー



兵庫県

■治水対策における多自然川づくり

- ・生物の多様な生息環境の保全・再生
- ・瀬、淵、礫河原などの緩傾斜河岸の保全
- ・水生生物移動の縦断的連続性の確保
- ・希少動植物の生息環境の保全

■自然環境の保全・復元などの自然再生

- ・浅場造成・ヨシ原保全

■自然環境が有する多様な機能活用の取組

- ・環境学習への場の提供
- ・自然とのふれあい、地域行事やレクリエーション活動等の場の確保

【全域に係る取組】

- ・下水道等関連事業、関係機関、及び地域住民と連携を図り、良好な水質を保全
- ・地域ニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援



地域行事の場



自然とのふれあいの場

（流域全体）
間伐等による森林整備
（鳥取県、森林整備センター、
鳥取森林管理署）

雨水の貯留・浸透による防災・減災（県）

（流域全体）
農地の保全
（多面的機能支払・中山間直接支払の活動組織）

良好な景観、地域社会形成（県）

（流域全体）
河道掘削
（国・鳥取県）

生物の多様な生息環境の保全・再生（国・県）
環境学習への場の提供 等（国）

（流域全体）
治山・砂防施設の整備
（鳥取県）

生物・景観に配慮した施設（県）

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

千代川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～流域の人々とともに因幡の治水対策を推進～

- 千代川では、流域全体を俯瞰的にとらえ、流域に関連する機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】鳥取市市街地等で、氾濫防止を目的とした河道掘削や築堤、内水対策等を実施する。また、水位計・監視カメラの設置による情報提供等を実施し、被害軽減に努める。
- 【中期、中長期】気候変動を考慮し、より大規模の洪水による浸水被害を防ぐための検討を行い、更なる対策を推進する。また、あわせて、逃げ遅れゼロを目指した、マイ・タイムライン作成や内水ハザードマップの作成などソフト対策や浸水表示板の設置等を継続的に実施する。

【ロードマップ】

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

■グリーンインフラの取組 詳細次ページ

■事業規模

河川対策（約236億円）

下水道対策（約37億円）

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	袋川の氾濫を防ぐ堤防整備	鳥取河川国道事務所	湯所地区		
	千代川上流の氾濫を防ぐ河道掘削、堰改築	鳥取河川国道事務所	美成地区		
	千代川の堤防の浸透を防ぐ浸透対策	鳥取河川国道事務所	向国安地区		
	県管理区間の氾濫を防ぐ河道掘削、河道拡幅、樹木伐採、堤防整備、放水路整備	鳥取県	野坂川、湖山川、私都川、砂田川の整備		
			大路川、大井手川、八東川の整備		
			上記以外の箇所河道拡幅、堤防整備		
			県管理区間全体の河道掘削、樹木伐採		
	県管理区間の氾濫を防ぐ特定構造物の改築	鳥取県	大路川、湖山川の特定構造物（水門、排水機場等）の改築等		
	県管理区間の堤防の浸透を防ぐ浸透対策	鳥取県	八東川の浸透対策		
	湖山池の氾濫を防ぐ護岸、浚渫	鳥取県	湖山池の護岸整備等		
	下流域の氾濫を防ぐためダム適切な管理（長寿命化対策）	鳥取県	佐治川ダム、百谷ダムの適切な管理（長寿命化対策）		
	治山・砂防施設の整備、長寿命化	鳥取県、鳥取森林管理署	治山・砂防施設の整備、長寿命化		
	準用河川及び普通河川の氾濫を防ぐ河道掘削、河川改良	鳥取市	小規模河川の整備		
	準用河川及び普通河川の氾濫を防ぐ内水対策	鳥取市、八頭町	排水施設・排水機場施設の整備、増設		
	洪水の流出を抑制する田んぼダム	集落活動組織	大路川周辺地域、河内、稲常、向国安、里仁、智頭町土師川周辺地域など		
	間伐等による森林整備	鳥取県、森林整備センター、鳥取森林管理署	間伐等による森林整備		
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内に所在する住宅や避難所の建替え等の支援	鳥取県及び関係流域市町	流域内での対応		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	浸水深表示板の設置	鳥取県	流域内での対応		
	土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県	流域内での対応		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

千代川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～流域の人々とともに因幡の治水対策を推進～

- 千代川では、流域全体を俯瞰的にとらえ、流域に関連する機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】鳥取市市街地等で、氾濫防止を目的とした河道掘削や築堤、内水対策等を実施する。また、水位計・監視カメラの設置による情報提供等を実施し、被害軽減に努める。
- 【中期、中長期】気候変動を考慮し、より大規模の洪水による浸水被害を防ぐための検討を行い、更なる対策を推進する。また、あわせて、逃げ遅れゼロを目指した、マイ・タイムライン作成や内水ハザードマップの作成などソフト対策や浸水表示板の設置等を継続的に実施する。

【ロードマップ】 ※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

●グリーンインフラの取り組み 『多様な動植物の生息・生育環境の保全・再生と水質改善』

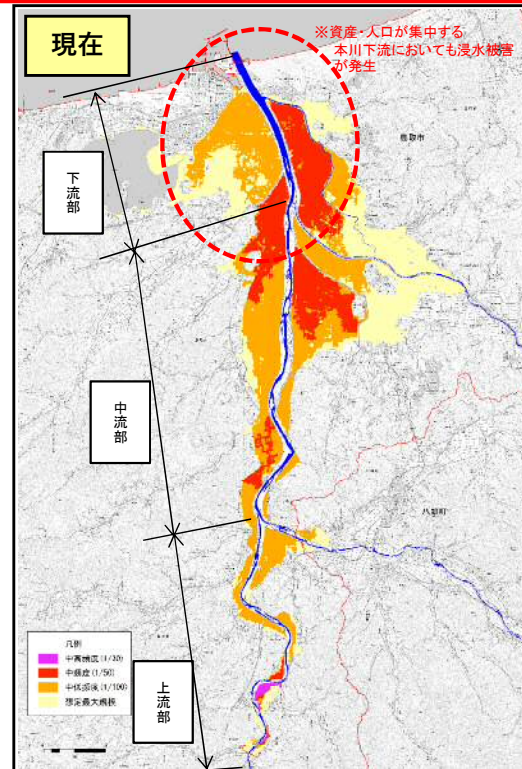
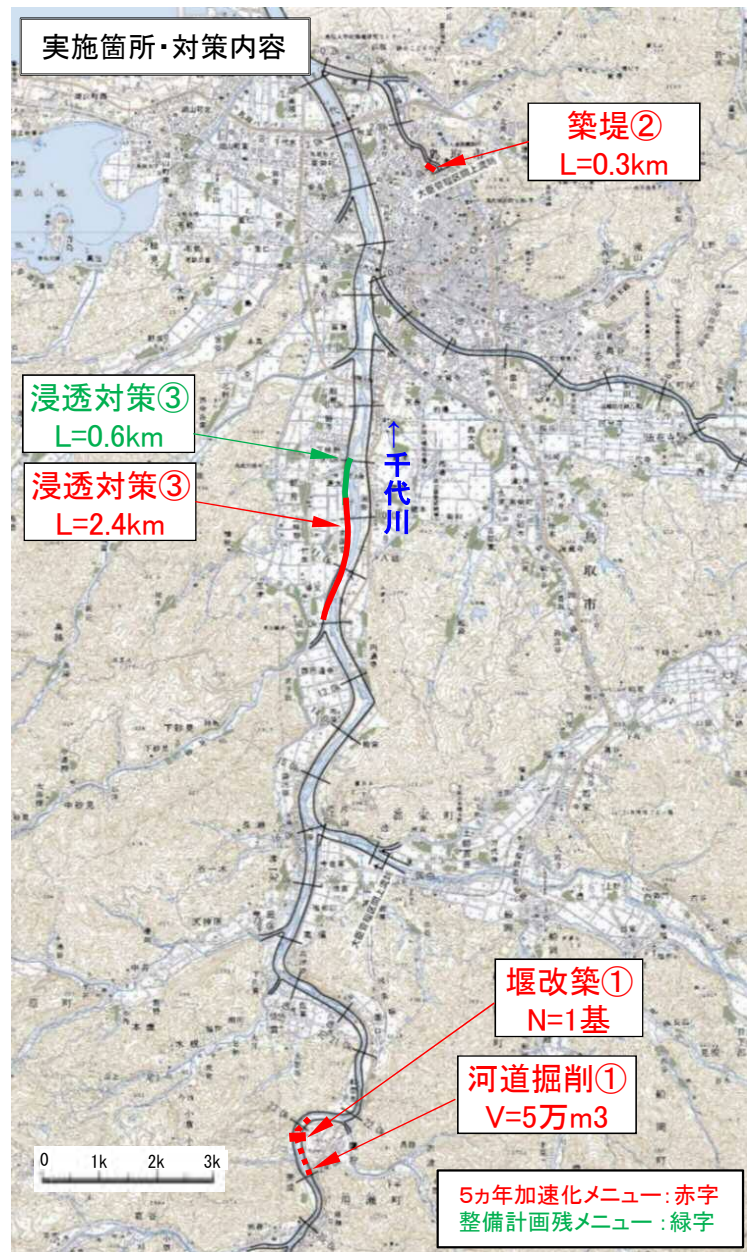
グリーンインフラの取組	千代川の氾濫を防ぐ堰改築に伴う、水生生物移動の縦断的連続性の確保	鳥取河川国道事務所	美成地区		
	千代川の氾濫を防ぐ河道掘削に伴う、生物の多様な生息環境の保全・再生	鳥取河川国道事務所	美成地区		
	環境学習への場の提供 等	鳥取河川国道事務所	千代川・袋川・新袋川・八東川		
	県管理区間の氾濫を防ぐ河道掘削に伴う、生物の多様な生息環境の保全・再生	鳥取県	県管理区間全体の河道掘削		
	治山・砂防施設の整備に伴う、生物・景観に配慮した施設	鳥取県	治山・砂防施設の整備		
	浅場造成に伴う、生物・景観に配慮した護岸	鳥取県	湖山地の浅場整備		
	農地の保全に伴う、良好な景観、地域社会形成	鳥取県	流域全体		
	間伐等による森林整備に伴う、雨水の貯留・浸透による防災・減災	鳥取県、森林整備センター、鳥取森林管理署	間伐等による森林整備		
	準用河川及び普通河川の氾濫を防ぐ河道掘削・河川改良に伴う、生物の多様な生息環境の保全	鳥取市	小規模河川		
	洪水の流出を抑制する田んぼダムに伴う雨水の貯留による防災・減災	集落活動組織	大路川周辺地域、河内、稲常、向国安、里仁、智頭町土師川周辺地域など		

千代川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

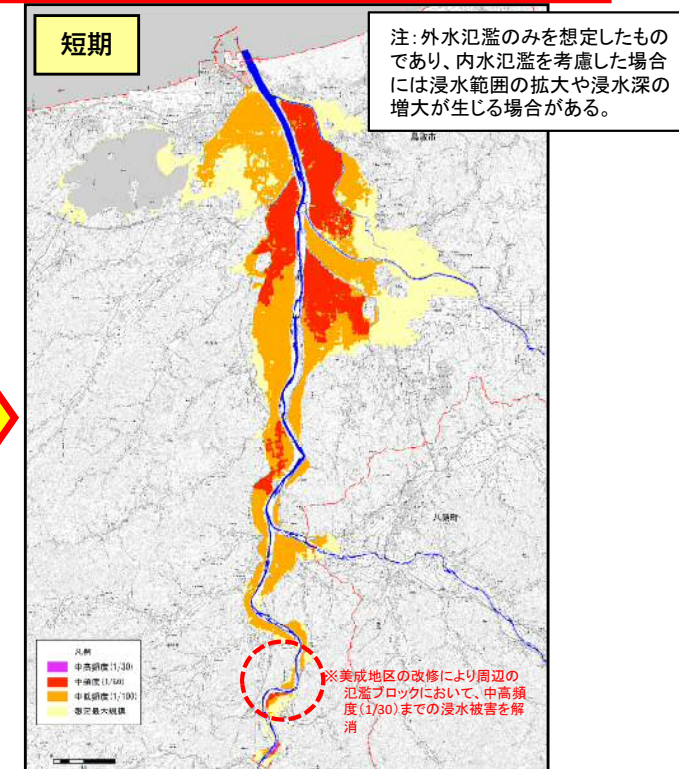
～流域の人々とともに因幡の治水対策を推進～

【短期完了時】 美成地区の河道掘削、湯所地区の堤防整備のR7年度完了に伴い、戦後最大洪水のS54.10規模洪水から浸水被害を解消する。

短期整備（5ヵ年加速化対策）効果：河川整備率 約81%→約100%



※外水氾濫のみを想定したものである。



※外水氾濫のみを想定したものである。

※国直轄事業の実施によるものである。

区分	対策内容	区間	工程	
			短期 (R3～R7年度)	
			R3 1/10→1/10	中期 (R8～R9年度) 1/10→1/10
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	河道掘削 0%→100%	①地区 (美成)	100%	
	堰改築等 0%→100%	①地区 (美成)	100%	
	堤防整備 0%→100%	②地区 (湯所)		100%
	浸透対策 0%→100%	③地区 (向国安)		80%

【短期整備完了時の進捗】
①美成地区 河道掘削、堰改築
0%→100%
②湯所地区 堤防整備
0%→100%
③向国安地区 浸透対策
0%→80%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

千代川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～流域の人々とともに因幡の治水対策を推進～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：100%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



4市町村

（令和3年度末時点）

流出抑制対策の実施



0施設

（令和2年度実施分）

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 9箇所
（令和3年度実施分）

砂防関係施設の
整備数 1施設
（令和3年度完成分）

立地適正化計画における
防災指針の作成



0市町村

（令和3年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定
区域 7河川
（令和3年12月末時点）

内水浸水想定
区域 0団体
（令和3年11月末時点）

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保
計画 洪水 204施設
土砂 63施設
（令和3年9月末時点）

個別避難計画 4市町村
（令和4年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

田んぼダムにより洪水時の流出を抑制する



（活動の必要性及び概要）

鳥取市大路川周辺農地においては、過去の豪雨災害による住宅地の浸水を契機に地域活動として田んぼダムに取り組んでいる。

田んぼダムは、田んぼが元々持っている水を貯める機能を利用し、大雨時に田んぼに一時的に雨水を貯めることで、排水路や河川への流出を抑制し、洪水被害を軽減する地域でできる自主防災の取組として、平成26年度より取組が始まりました。

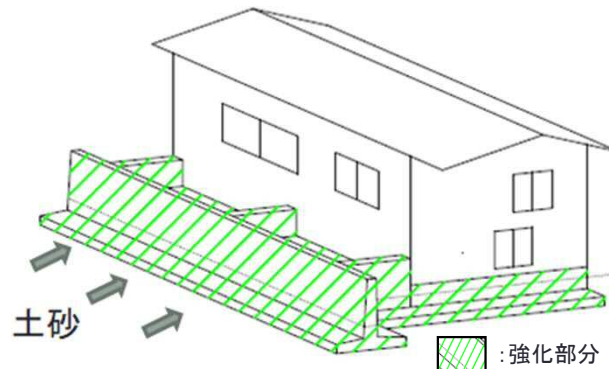
（期待される取組効果）

大雨時に田んぼに一時的に雨水を貯め、田んぼから時間をかけて少しずつ流すことで、河川・排水路が急激な水位上昇であふれるのを抑えたり、流域内の集落や農作物の浸水被害を抑えることが出来ます。

被害対象を減少させるための対策

土砂災害特別警戒区域内での住宅等建て替え支援

防護壁設置等により崩壊土砂に耐えられる構造に強化



（目的）

中山間地域では、高齢化が進む中、定住の意向を持つ方も多数居住されており、鳥取県では中山間地域における住民の安全・安心を確保するため、土砂災害特別警戒区域内に居住されている方を支援する取組を行っています。

（内容）

住宅建替え時に、土砂災害特別警戒区域外への移転が困難な方に対して、住宅の構造強化に係る経費を一部補助しています。

※千代川流域治水プロジェクトとして取り組んでいる内容となりますがページ上段の「立地適正化計画における防災指針の作成市町村数」との関連はありません。

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

ハザードマップ等を活用した情報発信



（目的）

鳥取市では、洪水、土砂災害、津波の危険地域などの情報を住民の皆様に分かりやすく提供することで、防災意識の向上や災害時に向けての事前の備えを心がけていただくことを目的に「総合防災マップ（2020年度保存版）」を作成しました。

この防災マップをご活用いただき、ご家庭、地域、職場等での「各種災害に対する避難計画」や「災害時の備え」などにお役立てください。